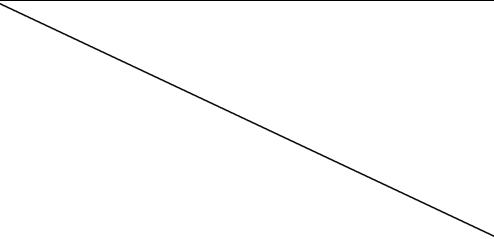


意見・質問及びそれに対する回答

議案	意見・質問	回答
日程第一 【報告事項】 生涯学習事業、文化財保護事業、公民館事業の報告及び予定について	公募等で募集した事業について参加人数が記載されているが、募集人数に対して応募者が何人きたのかがわかりません。例えば、5人募集して5人参加したのであれば、その事業は好評ですが、30人募集して5人参加では不評だったと判断できると思います。また、その場合、広報の仕方も気になるところです。その辺を記載して欲しいと思いました。 また、事業が多いので、対象が幼児～小学生なのか、青少年なのか、大人なのか、わかると理解しやすいです。	各事業の募集人数、広報の方法及び募集対象について、第4回定例会以降資料に記載するよう検討します。
	あいさつ標語カルタ大会の参加者が応募に対して少なかったようだが、どのような要因が考えられますか？	参加者の確保については、大きな課題であると認識しています。 新型コロナウイルス感染症の影響で本事業の中止が続いたことにより、市民からの認知度が下がってしまったことが要因と考えられます。 本大会を広く市民に周知できるよう、児童・生徒へのチラシ配付だけではなく、学校や関係施設へのさらなる働きかけを検討します。
	こどもの創作体験の参加者の感想はどうでしたか？	アンケート結果では「とても楽しかった」という回答が圧倒的に多くありました。また、「友だちにもこの講座を勧めたい、今回の講座の体験を今後にかしてゲームなどを作れそう」という回答も多く、その他には「もっと時間を長くしてほしい、またこの講座があったら参加したい、いろいろなゲームやアニメをつくりたい」などの感想が寄せられました。

日程第二 【報告事項】 スポーツ推進事業の報告及び予定について	意見・質問なし	
日程第三 【報告事項】 図書館事業の報告及び予定について	今後の図書館運営の事業として書籍の収集、選定の中で電子書籍の扱い、導入の可否、考え方を意見としてお伺いしたい。	資料の収集については、資料選定要領、基準に基づいて行っており、今後もこの要領、基準に沿って収集します。 また、電子書籍については、今年度重点課題の一つとして「導入を検討する」としており、現在、多摩地区各市町村の導入状況等の調査を実施し、集計しているところです。今後、メリット、デメリット等を明らかにしていきたいと考えています。導入する際には、資料選定要領、基準を踏まえ、電子と紙の書籍それぞれの利点を生かすよう、バランスの取れた資料選定が重要になると考えています。
	あきる野を知ろう！の「ミニ新聞」は、子ども達がどんな新聞を作ったのかとても興味を惹かれました。	「あきる野ふるさとのはかせ」等を使い、クイズ等をしながらあきる野について学ぶというもので、対象は小学校3～6年生とし、募集定員6人のところ、5人の応募がありました。 今回のミニ新聞作りは、中央図書館において、8月7日と21日の2回に渡り実施し、トウキョウサンショウウオをテーマに、子どもの視点で作成され、森っこサンちゃんの絵が大きく描かれていました。